



No.872

2026 May

FREE

ご自由にお持ちください。



岐阜県の森林・林業

森のたより

新緑を仰ぎ、爽快ウォーク



| 開催日 | 行事名等 | 内容等 | 場所 |
|------------|-----------------------|---|---|
| | | | 申込(問合せ)先/TEL |
| 5月31日(日)まで | 緑の募金(春期) | 「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。 | 公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会 TEL: 058-273-7577 |
| 6月13日(土) | 第1回 狩猟免許試験 (わな) | 狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 令和8年5月8日~5月22日 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記のお問い合わせください。 | 東濃西部総合庁舎 各地域を所管する県事務所等、 または自然環境課 TEL: 058-272-8231 |



| | |
|-------------------------------|----|
| 市況 | 22 |
| 国有林の現場から(115) | 21 |
| 刺される前に駆除(スズメバチ対策) | 20 |
| イベントカレンダー(林業者向け) | 19 |
| 東濃西部の森林づくりを担う「人」を想う | 18 |
| 森林技術開発・支援センター 林業普及通信 | 17 |
| 普及コーナー | 16 |
| 研究コーナー | 15 |
| 森林と人を活かす知恵(160) | 14 |
| 木の香るぎふの施設(156) | 13 |
| ハシマス・マートオフィス | 12 |
| シリーズ「森林・環境税で緑豊かな清流の国ぎふづくり(1)」 | 11 |
| morinos プログラム紹介! | 10 |
| ぎふ木遊館通信 | 9 |
| 山の歳時記(249) カスマゲサ | 8 |
| 岐阜県地域森林監理士の認定について | 7 |
| シリーズ 役立っています! 森林環境譲与税 | 7 |
| 令和7年度 岐阜県治山林道技術成果発表会 | 6 |
| 令和8年度ぎふの木で家づくり支援事業 | 6 |
| 「ぎふ森のある暮らし」のお便り | 4 |
| Gークレジット制度の現状と今後について | 3 |
| 企業との協働による森林づくり | 2 |
| イベントカレンダー(一般向け) | 2 |
| 就任のご挨拶 岐阜県林政部長 長谷川 雅樹 | 2 |
| 令和8年度 岐阜県林政部予算の概要 | 2 |

目次 Contents

今月の表紙

写真は新緑を仰ぎながらノルディック・ウォークを楽しむ様子(白川町和泉地内)。草木の緑や香り、鳥のさえずりなどによる心身のリフレッシュ効果はもとより、専用ボールを持って歩くこの方式は、腕や背中などの筋肉も使う全身運動の効果があるとされています。



就任のご挨拶

岐阜県林政部長

長谷川 雅樹

この度の異動で林政部長を拝命しました。重責に身の引き締まる思いですが、皆さまのご協力をいただきながら、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

本年は、平成18年の全国植樹祭を契機に制定された「岐阜県森林づくり基本条例」に基づく「岐阜県森林づくり基本計画」の第4期計画の最終年であります。計画の総仕上げとして、従前の取組を着実にを行うとともに、新たな取組も行っております。

「森林づくりの推進」について、針葉樹人工林を針広混交林へ誘導するための施業技術の確立に向けたモデル事業を実施してまいります。また、人口減少により、今後さらなる森林技術者不足が予想されることから、限られた人材で持続可能な森林・林業の実現を目指す新たな担い手戦略を策定することや、林業労働災害が特に多い中堅技術者の安全意識向上と指導力強化を図るため、研修の実施に向け新たな研修カリキュラムを作成してまいります。

「林業・木材産業の振興」について、県産材を活用した住宅への支援として、新築に加えて、住宅のリノベーションに対しても支援してまいります。また、森林の高齢化によって大径化が進展するスギ・ヒノキ材の利活用に向けた新たな戦略を策定してまいります。さらに、エネルギーの森づくりに取り組む事業者に対し、実証に係る経費や燃料材搬出経費等を支援してまいります。

「森林の価値の創造と山村地域の振興」について、皆様にご協力をいただいている岐阜県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度である「Gークレジット制度」では、Gークレジットの創出拡大に加え、Gークレジット購入者への表彰制度や活用方法の拡充により魅力を向上させ、取引の活性化を図ってまいります。また、森林サービス産業に意欲的に取り組む事業者等に対して、新たにトイレ等の受入環境整備に要する経費を支援してまいります。さらに、「ぎふ木育」の全県展開に向け、中津川市、高山市、郡上市に

加えまして、揖斐川町内にも「ぎふ木遊館サテライト施設」の整備をするとともに、木育コーディネーターの配置など「ぎふ木育」を推進してまいります。なお、主要施策は、4・5頁のとおりです。

そして、今年度は次期基本計画の策定の年でもあります。昨年度は、これまでの計画を振り返り、現状と課題を分析し、岐阜県森林審議会や岐阜県木の国・山の国県民会議をはじめ皆様から多くのご意見をいただきました。こうした意見を、目指すべき方向性や具体的な施策内容に反映したいと考えていますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、様々な施策を通じて、本県の森林・林業・木材産業をより一層推進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

岐阜県林政部予算の概要

林政部の令和8年度一般会計当初予算の総額は、192億1,512万6千円で、前年度と比較して10億7,616万3千円の増額、率にして5.9%の増となっており、国方針により令和8年度に予定していた事業の一部を前倒し、令和7年度3月補正に計上した予算を含めた主な施策は以下のとおりです。

森林づくりの推進

1 激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化

(1) 治山施設と森林整備の組み合わせによる総合的な防災力の強化 (571,000千円)

・市町村や林業事業体と連携した事前防災地区を設定し、間伐などの森林整備と、不安定土砂の移動を防ぐダムなどの設置等の治山対策を総合的に実施

(2) 山地災害危険地区における治山施設整備の推進 (4,293,400千円)

・防災・減災、国土強靱化対策として、災害発生リスクが高い山地災害危険地区において治山施設の整備を推進

(3) 災害に強い作業道づくりの促進 (7,500千円)

・木材搬出等を予定している既設作業道について、安全性や耐久性を向上させるため路盤や排水処理施設の整備等を支援

2 100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり

(1) 人工林における主伐・再造林、間伐等の支援 (4,158,212千円) [3月補正含む]

・森林の若返りによる資源の平準化や森林の持つ公益的機能の向上のため、主伐・再造林や間伐等に要する経費を助成

新

・スギ人工林を伐採し、花粉の少ない苗木への植替等について、交付金により支援するほか、植栽本数や間伐回数を低減した低コスト化・省力化の施業体系を構築

新

(2) 人工林の針広混交林化の推進 (67,217千円)

・針葉樹人工林の針広混交林化に関する施業技術の確立に向けたモデル事業を実施

・生物多様性維持のため、遺伝子のかく乱防止に配慮した県内産種子由来の広葉樹の苗木生産体制を整備

3 社会課題の解決を目指した森林づくりの推進

(1) 地域住民の生活環境を守る里山林の整備 (135,000千円)

・生活圏で倒木等の恐れがある樹木の除去及びクマ等野生動物と生活域の緩衝帯の整備を支援

新

(2) 森林火災予防に向けた対策の推進 (1,530千円)

・迅速な消防活動のため、消防関係者や森林作業道管理者等と情報共有する体制を構築するとともに、森林保険の加入や県民に対する森林火災予防の普及啓発を実施

(3) 境界明確化や新たな集約化手法への支援 (102,914千円) [3月補正含む]

・森林境界の明確化に向けた取組や、新たな森林集約化手法へのモデル的取組を支援するとともに、他地域への普及を実施

新

(4) 第10回「山の日」記念全国大会開催を契機とした森林の価値等の発信 (2,000千円)

・8月に開催の大会に合わせて、森林の価値や直面する課題を伝え理解を促すとともに、森林への愛着を育む「ぎふ木育」を、

4 広く県内外へ発信するPRイベントを開催
森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援 (33,960千円)

(1) 「地域森林管理支援センター」の運営

・市町村の林務行政を支援するため、「地域森林管理支援センター」において市町村からの相談対応や専門家への相談斡旋、市町村林務担当職員向けの研修等を実施

(2) 岐阜県地域森林監理士の養成・活用支援 (23,442千円)

・森林管理・経営に必要な専門的知識・技術を有する「岐阜県地域森林監理士」を養成・認定及び市町村等での「岐阜県地域森林監理士」の活用に必要な経費を助成

5 森林技術者の確保・育成・定着

(1) 新たな森林・林業の担い手戦略の策定

・人口減少により、今後更なる森林技術者不足が予想されることから、限られた人材で持続可能な森林・林業の実現を目指す新たな担い手戦略を策定

(2) 森林技術者の確保・育成・定着 (20,250千円) [3月補正]

・新規就業者等が安全な作業と技術を早期に習得できるよう、集合研修・OJT研修・巡回指導による人材育成を支援

新

(3) 移住者等への林業就業支援 (29,300千円)

・県外から移住し、林業に就業した者に対する就業支援金や、森林文化アカデミー学生に対する林業への就業準備金を給付

(4) 森林文化アカデミー校舎改修を通じた学生への実践的教育の実施や建築士の育成 (319,134千円) [3月補正]

・温熱・省エネ対策及び校舎の長寿命化のため改修工事を行うとともに、本工事を先進的な大型木造改修事例として、授業や建築士への講義に取り入れ、技術者を育成

6 都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大

(1) 新たな大径材利活用戦略の策定

・森林の高齢化によって大径材が進展するスギ・ヒノキ材の利活用に向けた新たな戦略を策定

(2) 県産材を活用した建築物の木造化等への支援 (476,322千円)

・木造住宅の新築等で県産材を一定量以上活用した建築主や県産材を活用した産直住宅建設団体を支援

・県と協定を締結した事業者が行う非住宅建築物の木造化、内装木質化等の県産材利用に要する経費の一部を助成

新

(3) 「ぎふ木造建築相談センター」の機能強化 (25,440千円) [3月補正]

・非住宅建築物の木造化等の相談や技術支援に加え、木材調達に関する情報収集・共有を図り、木材の安定供給体制を強化

(4) 中大規模木造建築の技術開発に係る基本計画の策定 (1,000千円) [3月補正]

・中大規模建築物の木造化・木質化の推進に必要な技術支援及び試験研究体制の再構築のための基本計画を策定

(5) 県産材の販路拡大の推進 (22,310千円) [3月補正]

・首都圏等に県産材製品の斡旋を行う相談窓口の設置等を実施するほか、欧州等での見本市への出展等を支援

(6) 地産地消型のバイオマス燃料の利用促進 (18,450千円)

・熱利用を進めるため、アドバイザーを派遣し、設備の導入を支援するとともに、市町村や地域住民等が協働して行う木質バイオマスの搬出に要する経費を助成

7 需要に合わせて柔軟かつ迅速に対応する木材サプライチェーンの構築

(1) 広葉樹の新たなサプライチェーンの構築 (3,600千円) [3月補正]

新

・広葉樹の活用と付加価値化を促進するため、広葉樹の加工流通施設の整備に要する経費を助成

・地域の広葉樹を家具や内装材に利用するため、生産・加工・流通・販売等のサプライチェーン構築に取り組み団体を支援

(2)住宅建築・木材需給の情報共有システム構築への支援 **(3,000千円)**【3月補正】

・県産材住宅の建設促進に向けて生産・流通・販売の連携を強化し、需給調整や販路拡大に取り組み団体を支援

(3)中小製材工場の水平連携に向けた新製品開発の推進 **(10,641千円)**【3月補正含む】

・中小の製材事業者の強みを生かした新製品の開発を推進するとともに、事業者間の水平連携に向けた検討会を開催

(4)木材産業の競争力強化のためのDXの推進 **(6,000千円)**【3月補正含む】

・DXに関する研修会の開催とアドバイザーを派遣するほか、DXのシステム等の導入に要する経費を助成

(5)ICT等を導入する事業者への支援 **(9,957千円)**【3月補正含む】

・ICT等の新技術活用により、適正な森林管理、効率的な林業生産、作業安全性の向上促進等に取り組む林業事業者を支援

8 **木材の安定供給と森林所有者への利益還元**

(1)燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進 **(23,825千円)**

・エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費を、また、エネルギーの森の整備に取り組み事業者に対し、燃料材搬出経費等を助成

(2)林業機械の購入・レンタルへの支援 **(20,962千円)**【3月補正】

・林業事業者の林業機械購入経費を助成するとともに、小規模な林業事業者に対して機械レンタル経費の助成及び技術指導を実施

(3)林道等路網整備の推進 **(1,708,589千円)**

・市町村が行う林道の整備に要する経費を助成するとともに、基幹的な林道及び林業専用道を県が代行して整備

森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

9 新たな雇用と収入を生み出す森林サービス産業の育成

(1)森林空間等アウトドア資源への誘客に向けた環境整備の支援 **(75,000千円)**

・森林空間等を活用した質の高いアウトドア体験の提供に意欲的な事業者等に対し、トイレ等の衛生施設や駐車場等の受入環境整備に要する費用の支援を実施

(2)インバウンド受入れに向けた事業者への支援及びモニターツアーの実施 **(16,655千円)**

・新たに森林サービス産業を実施する事業者、インバウンド受入れに取り組む事業者に対し、プランナー派遣等の伴走型支援や、事業に要する初期費用の支援

(3)「ぎふ森フェス」開催支援等による森林サービス産業の育成 **(7,784千円)**【3月補正含む】

・「ぎふ森のある暮らし推進協議会」が主催する「ぎふ森フェス」の開催支援や、全国「森林サービス産業全国交流会」の開催

10 **カーボンニュートラルの実現に向けた取組み**

(1)Greeジョイント制度の推進 **(9,180千円)**

・Greeジョイントの創出拡大に加え、Greeジョイント購入者への表彰制度や活用方法の拡充により魅力を向上させ、取引を活性化

(2)県営林Jークレジットの取得・販売の推進 **(8,800千円)**

・県営林において、Jークレジット制度に基づき認証されたクレジットを販売するとともに、新たなクレジットの取得を推進

(3)企業との協働による森林づくりの推進 **(584千円)**

・市町村と連携し、企業等の活動の支援及び「岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例」に基づき、企業等の森林づくり活動による二酸化炭素吸収量を認定

11 「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向けた「ぎふ木育」の推進

(1)「ぎふ木育サテライト施設」の整備支援 **(36,666千円)**

・新たな「ぎふ木育サテライト施設」(揖斐川町)の整備を支援

(2)「ぎふ木育」の普及 **(10,553千円)**

・地域における「ぎふ木育」推進の総合調整を担う「ぎふ木育コーディネーター」を新たに岐阜、西濃、中濃圏域に配置し、人材育成や木育教室への指導者派遣

(3)「ぎふ木育」の普及 **(10,553千円)**

・「ぎふ木育コーディネーター」による地域で活動する木育・森林環境教育関係者を対象とした交流会を開催するなど、ぎふ木育人材のネットワーク化を実施

(4)燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進 **(23,825千円)**【再掲】

・エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費を、また、エネルギーの森の整備に取り組み事業者に対し、燃料材搬出経費等を助成

(5)地産地消型のバイオマス燃料の利用促進 **(18,450千円)**【再掲】

・熱利用を進めるため、県が認定したアドバタイザーを派遣し、設備の導入を支援するとともに、木質バイオマスの搬出に要する経費を助成

12 **きのこなどの特用林産物の振興**

(1)新たな特用林産物振興方針の策定 **(47,226千円)**【3月補正含む】

・林業産出額の約3割を占め、山村地域の重要な収入源である特用林産物の生産振興を図るため、新たな特用林産物振興方針を策定

(2)きのこ生産者等への支援 **(47,226千円)**【3月補正含む】

・きのこ生産者が購入する生産資材の高騰分に対し助成するほか、しいたけ原木生産者等による広葉樹の伐採、搬出路開設及び運搬に要する経費の一部を助成

13 清流の国ぎふ森林・環境税を活用した自然環境の保全・再生

(1)森林部門 **(1,066,357千円)**

・奥地水源林の間伐、危険な樹木の除去、被害森林等での早生樹の植栽等の森林整備を支援

(2)環境部門 **(346,686千円)**

・啓発効果の高い公共施設等の木造化・内装木質化を支援するとともに、森や木、川に関する環境教育や「ぎふ木育」を推進

(3)共通部門 **(33,707千円)**

・地域団体等が実施する自然環境保全の取組みを支援

外部有識者等で構成する第三者機関の設置等により、基金事業の透明性を確保



企業との協働による森林づくり



県では、県民協働による森林づくりの一環として、「企業との協働による森林づくり」を推進しています。過日新たに2件の森林づくり協定を締結し、協定締結件数は42件（うち5件は期間終了）となりました。

41

株式会社東海理化

令和8年2月4日に、株式会社東海理化（愛知県丹羽郡大口町）、川辺町及び県の3者で、川辺町で初となる森林づくり協定を締結しました。下草刈りや間伐などの森林整備活動を実施することにより、森林づくりに貢献するとともに、地域社会との交流を図ります。

- 場 所：加茂郡川辺町西柘井地内（面積11.94ha）
- 森の名称：株式会社東海理化の社内公募により後日決定
- 協定期間：令和8年2月4日～令和13年3月31日（5年）
- 主な活動：下草刈りや間伐などの森林整備活動



42

豊田合成株式会社

令和8年3月9日に、豊田合成株式会社（愛知県清須市）、美濃加茂市及び県の3者で、豊田合成株式会社として県内5箇所目となる、森林づくり協定を締結しました。里山整備、歩道整備等の森林整備活動を実施することにより、森林づくりに貢献するとともに、地域社会との交流を図ります。

- 場 所：美濃加茂市山之上町地内（面積2.36 ha）
- 森の名称：「豊田合成 樹守の里」
- 協定期間：令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年）
- 主な活動：里山整備、歩道整備など森林整備活動



●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8255 森林活用推進課 森林吸収源対策室 緑化推進係まで



G-クレジット制度

G-クレジット制度の現状と今後について



令和8年2月末において、G-クレジット制度のプロジェクト実施者は制度創設時の2者から26者となり、約7,000t-CO₂のクレジットを認証し、その8割が取引済みです。取引による収益は山側に還元されており、林業での収益化が困難な森林から収入を得られることで、森林所有者の関心を高め、森林整備の推進に著実に寄与しているものと考えています。

これまでの取引実績 (R8.2.28末)

| 年度 | 認証量 (t-CO ₂) | 取引可能量 (t-CO ₂) |
|-------|--------------------------|----------------------------|
| 令和5年度 | 538 | 完売 |
| 令和6年度 | 1,214 | 完売 |
| 令和7年度 | 5,174 | 1,348 |
| 合計 | 6,926 | 1,348 |

制度創設以来、県発注工事の工事成績評定や、県建設工事入札参加資格審査に係る主観的事項審査における評価等、クレジットの魅力を上向きさせる活用方法を拡充してきましたが、令和8年度からは、企業の脱炭素経営への活用を促しクレジットの価値を高めることで取引の拡大につなげるため、オフセット商品の開発等の優良事例の紹介や表彰制度の創設に取り組んでいきます。

また、県林政部発注の建設工事を対象に、G-クレジット制度がカーボンニュートラルにどの程度貢献しているかを調査しますので、工事受注者におかれましては、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

※プロジェクト実施者の連絡先、取引可能クレジット量等は、G-クレジット制度運営事務局HP (<https://gcredit-gifu.jp/>) をご確認ください。
詳細な販売時期や条件等は、プロジェクト実施者にお問い合わせください。

事務局
Web →
サイト





岐阜県地域森林監理士の認定について



県では、平成29年度から、地域における森林の管理及び経営に必要な専門知識・技術を有し、市町村林務行政の支援や民有林経営への助言等を行う人材を「岐阜県地域森林監理士」として認定しています。

令和7年度は新たに以下の4名を認定し、認定者は合計43名となりました。県のホームページで、岐阜県地域森林監理士の名簿を公開していますので、関心がある方や支援を受けたい方はぜひご覧ください。

新たに岐阜県地域森林監理士に認定された方々のご活躍を期待しています。

| 認定番号 | 氏名 | 所属 |
|----------|-------------------|-----------------|
| 第R07-01号 | はせがわまさひろ 長谷川政弘 | 揖斐川町役場 |
| 第R07-02号 | おおつぼ てつや 大坪 哲也 | ForesTech (自営業) |
| 第R07-03号 | うすい やすひろ 白井 康裕 | 株式会社佐合木材 |
| 第R07-04号 | やました えいじ 山下 英治 | 有限会社山下木材 |



岐阜県地域森林監理士に認定された方々

県ホームページURL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/16703.html>

お問い合わせ

森林活用推進課 森林吸収源対策室 森林吸収源対策係 TEL:058-272-8821

シリーズ

役立っています!“森林環境譲与税” 7

手入れの行き届かない森林の整備や担い手の育成などの取組みを進めるための財源として、国から県や市町村へ森林環境譲与税が配分されています。このコーナーでは、県内市町村による森林環境譲与税の活用事例について連載で紹介します。

中津川市 —木育施設における普及啓発の展開—

取組みの背景

中津川市では、将来的な林業従事者の確保と後継者育成を行うため、岐阜県立森林文化アカデミーと連携協定を締結し、「中津川市 森の担い手育成構想」を策定。森林への関心を高めることを通して、将来の林業・木材産業の担い手確保に繋がるよう、森林環境譲与税を活用し、次世代を担う子どもたちへの木育・森林環境教育を推進しています。

事業内容

令和6年8月4日に開館した県内初のぎふ木遊館サテライト施設である「なかつがわ 森の木遊館」の運営に森林環境譲与税を活用しています。

取組みの効果

道の駅駅舎という立地を生かし、平日は市内の親子連れ、休日は県内外の観光客のみなさまに木育体験を提供しており、今年3月には来館者2万人を達成しました。市内に所在する木曽ヒノキ備林をはじめとする森林文化を発信する拠点となっている他、木育プログラムや木育関係者向けの研修、交流会等を実施する拠点となっています。



お問い合わせ

森林環境譲与税について

中津川市の取組みについて

岐阜県森林活用推進課 森林吸収源対策室 緑化推進係

中津川市役所 農林部 林政課

TEL:058-272-8255

TEL:0573-66-1111



令和7年度 岐阜県治山林道技術成果発表会

令和8年2月17日、岐阜県庁ミナモホールにおいて、令和7年度岐阜県治山林道技術成果発表会を開催しました。当日は、治山林道研究会員や測量設計会社など131名が参加し、参加者は各発表を熱心に聴講していました。

発表会では、治山及び林道部門それぞれ3題の発表が行われ、ドローンを活用した新工法やシカ対策技術の実証などの課題等への対応について報告されました。

また、話題提供として、「ICT技術の活用－違法事案の安全性検証－」について森林保全課 菅原武志様及びアジア航測(株) 恩藤 真様から、「白山白川郷ホワイトロード（林道白山線）管理の新たな取組み」について岐阜県森林公社 桑原雅和様ならびに大日コンサルタント(株) 古野隆史様、松田康弘様から、レーザーデータを活用した開発事業地や林道施設の経年変化や管理判断資料への活用事例について報告いただきました。

なお、発表会後に参加者による投票が行われ、下表のとおり各部門の優秀発表が選考され、研究会会長から表彰状が授与されました。さらに、令和6年1月に発生した能登半島地震の復旧支援として、令和6年度に能登町へ派遣され、災害復旧に貢献された野田昌吾様に、その功績をたたえ、林道研究会から表彰状が贈呈されました。

●発表結果

| 部門 | 受賞区分 | 課 題 | 発 表 者 |
|----|-------|---------------------------------------|--|
| 治山 | 最優秀賞 | 航空実播工におけるUAVを使用した施工（BSC工法）について | 岐阜・西濃・揖斐ワーキンググループ 代表発表者 岐阜農林事務所 桂川 亮 |
| | 優 秀 賞 | DXを推進した業務効率化の取り組みについて | 中濃・郡上・可茂・東濃ワーキンググループ 代表発表者 東濃農林事務所 石坂 光 |
| | 奨 励 賞 | 安全対策に配慮した治山ダム型枠の選定について | 恵那・下呂・飛騨ワーキンググループ 代表発表者 下呂農林事務所 野間 弘貴 |
| 林道 | 最優秀賞 | シカ獣害対策としての林道法面保護工法について | 白川町農林課 今井 和樹 |
| | 優 秀 賞 | 林道の法面における獣害対策について －シカ侵入防止金属枠工法の検証－ | 岐阜農林事務所 村井 弘人 |
| | 奨 励 賞 | 初めて林道業務に携わって | 西濃農林事務所 豊永 翔馬 |



発表(会場でドローンを飛ばす様子)



表彰式



表彰状の贈呈

ぎふの木をつかった住宅の新築・リノベ・改修に助成します

岐阜県では、岐阜県産材の利用拡大を目的として、住宅の構造材、内装材に岐阜県産材を活用した住宅の施主に対し助成をしています。

令和8年度も引き続き実施しますので、ぜひ「ぎふの木を使った家づくり」をご検討ください。



写真提供: 笠原木材(株)

助成額

新築

最大 **32万円**

リノベーション・改修

最大 **16万円**

【募集棟数】

県内新築タイプ
230棟

県外新築タイプ
60棟

県内リノベーション・改修タイプ
30棟

国補助金等との併用が可能です!

金利を引き下げられる「フラット35地域連携型」が利用できます!

◆助成内容一覧

| 区分 | 建築場所 | 助成額計算方法 | 1棟あたりの助成額 | 申請要件 | 申請先 |
|--------------|------|---|--|---|---------------------|
| 県内新築タイプ | 岐阜県内 | ① 構造材と内装材の県産材使用量に応じて、aとbの合計額を助成【上限30万円、下限15万円】 a 構造材:「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」の使用量(m)×2万円/m ² b 内装材:「木材使用要件Ⅱ※ ² 」の使用量(m)×2千円/m ² | 国補助金等との併用なし【①+②】 上限 32万円 (下限 15万円) | ・「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」を構造材に80%以上使用する住宅であること | 住宅が所在する地域の県農林事務所林業課 |
| | | ② ①に加え、内装材に「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」を使用した場合、cの額を加算【上限2万円】 c 内装材:「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」の使用量(m)×400円/m ² | 国補助金等との併用あり【(①+②)×0.55】 上限 17万6千円 (下限8万2千円) | ・「ぎふの木で家づくり協力工務店等※ ³ 」が建設する住宅であること | |
| 県外新築タイプ | 県外 | ① 構造材と内装材の県産材使用量に応じて、aとbの合計額を助成【上限20万円、下限15万円】 a 構造材:「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」の使用量(m)×2万円/m ² b 内装材:「木材使用要件Ⅱ※ ² 」の使用量(m)×2千円/m ² | 国補助金等との併用なし【①】 上限 20万円 (下限 15万円) 国補助金等との併用あり【①×0.55】 上限 11万円 (下限 8万2千円) | ・「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」を構造材に80%以上使用する住宅であること ・「ぎふの木で家づくり協力工務店等※ ³ 」が建設する住宅であること | 県庁林政部 県産材流通課 |
| 県内リノベーションタイプ | 岐阜県内 | ① 構造材・準構造材と内装材の県産材使用量に応じて、aとbの合計額を助成【上限14万円、下限4万円】 a 構造材「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」の使用量(m)×2万円/m ² b 内装材:「木材使用要件Ⅱ※ ² 」の使用量(m)×2千円/m ² | 国補助金等との併用なし【①+②】 上限 16万円 (下限 4万円) | ・「ぎふの木で家づくり協力工務店等※ ³ 」が建設する住宅であること | 住宅が所在する地域の県農林事務所林業課 |
| | | ② ①に加え、内装材に「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」を使用した場合、cの額を加算【上限2万円】 c 内装材:「木材使用要件Ⅰ※ ¹ 」の使用量(m)×400円/m ² | 国補助金等との併用あり【(①+②)×0.55】 上限 8万8千円 (下限 2万2千円) | ・「木材使用要件Ⅱ※ ² 」を内装材に20m ² 以上使用する住宅であること ・「ぎふの木で家づくり協力工務店等※ ³ 」が施工する住宅であること | |

※1 木材使用要件Ⅰ:「ぎふ性能表示材」又は「ぎふ証明材かつJAS製品」

※2 木材使用要件Ⅱ:「ぎふ証明材」又は「ぎふ性能表示材」又は「ぎふ証明材かつJAS製品」

※3 ぎふの木で家づくり協力工務店等:県内に事業所を有し「ぎふの木で家づくり協力工務店」の認定を受ける、もしくは受けようとする工務店等

◆令和8年度事業スケジュール

● 梓登録申込期間: 令和8年4月15日(水)～令和8年9月30日(水) (県内新築タイプ、県外新築タイプのみ)

● 補助金申請期間: 令和8年4月15日(水)～令和9年2月1日(月)

※ 工事完了日から90日以内に補助金申請が必要です。

募集方法は先着順とし、募集棟数もしくは予算の上限に達した場合、受付を終了します。

募集棟数、申込み時期、応募状況、必要書類等詳しくは県のホームページでお知らせしています。

お問合せ先

岐阜県 林政部 県産材流通課 販路拡大係
TEL:058-272-8487 FAX:058-278-2705

詳しくは岐阜県のホームページでお知らせしています。

ぎふの木で家づくり

検索





令和5年1月に設立された「ぎふ森のある暮らし推進協議会」から「遊び」「学び」「健康」などに森林を活用する「森林サービス産業」に取り組む会員の活動をご紹介します！

第7回 加子母森林組合&80%山のまちを元気にする協議会



加子母森林組合

●活動内容

びりんぼんせいこれをたやさず

「美林萬世之不滅」を理念にした森林づくりを行っています。森林空間活用として、乙女溪谷キャンプ場や舞台峠コテージの運営、福崎環境の森など加子母地内での企業の森づくりや、学生の環境学習や間伐・郷土料理体験、伊勢神宮式年遷宮の御神木伐採跡をめぐる裏木曾古事の森ガイドツアーなども開催。モクモクセンター店舗では箸作りをはじめとしたワークショップを常時開催しています。



森の中の隠れ家



ワークショップ



インバウンドトレッキング

●推しポイント

芝居小屋かしも明治座をはじめ、尾張藩御山守内木家の3万点にのぼる古文書に裏打ちされた山里「加子母」のストーリーをそこかしこで感じていただけます。飛騨牛に鮎に山菜、朴葉寿司など豊かな森林の恵みも地域内で味わえる加子母へGo！

●リンク先

HP： <http://www.fa-kashimo.jp>



80%山のまちを元気にする協議会

●活動内容

森とつながる暮らしを、木曾川流域から。

YAOTSU MALLの体験プログラム「山里であそぶ」は、森・川・地域産業の循環を現場で読み解く、少人数フィールドワークです。

舟運で栄えた町の歴史と暮らしの時間を辿りながら、暮らしの中に息づく循環、そしてその循環が育んできた文化に触れます。祭りや醸造、発酵に込められた土地の記憶を、専門家や地域の担い手とともに学びます。



まちあるき

●推しポイント

木曾川流域で、森・川・人の循環に着目し、地域の歴史や文化を体験として再構築。暮らしに根ざした価値を伝える活動をしています。



講習のようす



養蜂の見学

●リンク先

YAOTSU MALL： <https://yaotsu-mall.com>
サスティナブル802：
<https://nohaku802.yaotsu-mall.com/>

ぎふ森のある暮らし推進協議会では、県内で「森林サービス産業」に取り組んでいる/取り組もうとしている方を会員として募集しております。詳しくは下記までお問い合わせください。

TEL:058-272-8472 メールアドレス:c11513@pref.gifu.lg.jp

ぎふ森のある暮らし
推進協議会について





これはカスマグサですが、森に入る手前で先頭を歩く人に聞かれました。

ソラマメ属のカスマグサ (*Vicia tetrasperma*) は、春に草むらや道端で見られるつる性の2年草で、カラスノエンドウとスズメノエンドウの間という意味の「カトスの間(マ)の草」が和名の由来です。

カスマグサの小葉は先が尖りますが、カラスノエンドウやスズメノ

エンドウの葉先は凹みます。またカスマグサの先端の巻きヒゲは1本で、長い花柄の先は2股に分かれ、スズメノエンドウよりやや大きい淡青紫色の蝶形花を1〜2個つけます。

ところで一般的にカラスノエンドウと呼んでいるヤハズエンドウ(矢筈豌豆)の名は、葉先の凹みが弓矢の弦を受ける矢筈に似ていることに由来し、カラスノエンドウは種子が熟すと莢が黒くなるため、カラス(烏)に例えた烏野豌豆なのです。

カラスノエンドウは秋に発芽し、春に直立して巻きヒゲで絡みついて伸長し、4月頃にはエンドウに似た小型の紫紅色の花をつけ、黒く熟す豆果は晴天の日に裂けて種子を弾き飛ばします。古代、中近東や地中海地方では、麦作農耕の開始期にエンドウなどと同様に栽培利用し、若芽や若い豆果を食用にし、熟した豆も炒って食用にしました。

スズメノエンドウは1本の花柄の先に、長さ3〜4mmで白紫色の蝶形花を4つ程度咲かせ、豆が2粒入った小さな莢をつけます。偶数羽状複葉の小葉は6〜7対で、先端に枝分かれした巻きヒゲをつけ、小葉の先には棘状の突起があつて、莢や葉には毛が生えていて、カラスより小型で繊細なため雀野豌豆と名付けられたのです。

以上の3種は、いずれも路傍で普通に見られる植物であり、外見が似ており、生育時期も同じなため、見分けが難しいのも理解できます。

カラスノエンドウは葉やつる、花などすべてが大きく、花色が紅紫色〜淡紅色で花柄がほとんど無いので簡単に見分けられます。カスマグサとスズメノエンドウは花色が淡紅紫色〜淡青紫色で花柄が長いのが特徴です。また花以外にはカラスノエンドウは托葉(葉の付け根の小さな葉)に暗紅色の蜜腺があり、他

の2種には無いことも見分けポイントです。

難しいのはカスマグサとスズメノエンドウの見分けで、カスマグサは小型の花を少数着けるだけですが、スズメノエンドウはごく小さな花を房状に多数着けます。またカスマグサの豆莢は無毛ですが、スズメノエンドウには毛が生えており、最大の見分けポイントは前述の小葉は先が尖るか、凹むかなのです。



淡紅紫色〜淡青紫色の花を咲かせるカスマグサ (中山久仁夫さん撮影)

ぎふ木遊館通信

ぎふ木遊館ってどんなところ？

新年度になり、初めてぎふ木遊館を知った方に向けて、館の魅力をご紹介します。岐阜県の豊かな森林が育んだ木の温もりを体験できる『ぎふ木育』の総合拠点である、ぎふ木遊館をぜひご利用ください。なお、本ページでご紹介しているエリアは完全予約制となりますので、ご来館の際は公式HPから事前予約をお願いします。

木育ひろば

ぎふ木遊館は大人から子どもまで、どなたでも「木育ひろば」で遊んでいただけます。遊ぶ際は、まず「ひといきスペース」に荷物を置き、保護者の方とお子さまと一緒に全身を使って思い切り楽しむことができます。

館内には大型木製遊具のほか、100種類以上の木のおもちゃを用意しています。木のおもちゃは岐阜県の木作家による作品も多く、毎日おもちゃを入れ替えながら、来館された皆さまをお迎えしています。

「木育ひろば」は子どもから大人まで、年齢を問わず一緒に遊び、考え、工夫しながら楽しめる「木育のはらっぱ」です。木のぬくもりに触れながら、豊かな遊びの時間をお過ごしください。



赤ちゃんひろば

2歳未満のお子さんとその保護者専用の「赤ちゃんひろば」を用意しています。にぎやかな木育ひろばとは異なり、小さなお子さまとゆったり過ごせる、落ち着いた空間です。

床には厚さ30mmの杉の無垢材を使用しており、ハイハイをする赤ちゃんの手足にやさしく触れ、心地よい刺激を与えてくれます。

赤ちゃんひろばには誤飲の危険がある小さな玩具や、遊び方が難しいおもちゃは置いていません。保護者の方も安心してお子さまと遊んでいただける空間となっています。

木工室

木育プログラムを開催する際に使われる「木工室」。木のモノづくりを通して、木に親しみながら、木の特性や道具の使い方を学べる場所です。お子さま向けだけでなく、大人の方向けの木工体験や、講話なども実施しており、幅広い年代の方に楽しんでいただけます。

作る過程の中で、木の種類ごとの香り、質感に触れられるプログラムが充実しています。

季節にあわせた多様なプログラムをご用意していますので、詳しくは公式HPをチェックしてみてくださいね。



☆ぎふ木遊館 施設の概要☆

休館日：毎週水曜日、年末年始、施設点検日

入館料：おとな 320円 団体（20名以上） 210円

高校生以下 無料

障がい者手帳等保持者とその付添1名 無料

平日限定年間パスポート 1,000円

駐車場：有（当館利用者は3時間まで無料）

開館時間（木育ひろば・赤ちゃんひろば）

第1部 10：00～11：30

第2部 13：00～14：30

第3部 15：00～16：30

※完全予約制です。

木育ショップ「響hibi-ki STORE」 10:00～17:00

ぎふ木遊館HPはこちら！





やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター (morinos) は森と人をつなぐ「森の入り口」となる施設です。morinosはひろばで遊ぶだけでなく、森を楽しむプログラムももりだくさん! がっつり自然体験活動をする人向けの講座もあるし、あまり森に入ったことないけど自然に触れたいな…というライト層にも楽しめるプログラムもあります。

今回は、「森の中でのんびりしたい!」「大人だってゆっくり休める時間が欲しい!」そんな声に応えたプログラム『大人のやすみじかん』をご紹介します!

<自然の中でリラックス♪~大人のやすみじかん~>

スタッフと一緒に、森の中で自分のための時間をゆっくりと過ごす『大人のやすみじかん』。暑い夏の日には沢に入って冷たい水に癒されたり、寒い冬の日には1人1つ自分だけのたき火を作って火に癒されたり…季節に応じてテーマは様々です。今回ご紹介するのは、春の暖かな3月に行った「冬から春へデトックス」がテーマの回です。



「デトックス」とは体に溜まった老廃物や毒素を外に出す、ということ。冬の間は血行や代謝が鈍り、老廃物や毒素を体の中にため込みやすくなると言われます。この時期の山菜には苦みのあるものが多いですが、冬眠や冬ごもりをする動物たちも山菜の苦み成分のデトックス効果を利用していると言われています。春に向けてデトックスを意識し、心身ともに整えるために、森でのリラックス方法、身近な山菜の活用について体験しました。

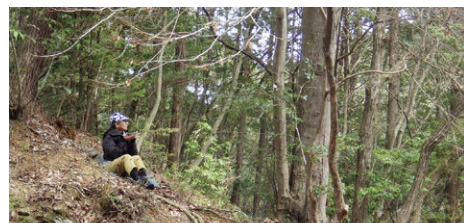
まず、春の兆しを感じ始めた森の中にみんなで入ってみました。目を閉じて、視覚以外の感覚で風の向きや太陽の方向を感じたり、音の種類を聞き分けたり、手で触って探しものをしたり…五感で自然を体験することで森の中でリラックスできました。



次に森の中で笹さがし。笹は見分けやすく、クセがなくて飲みやすい野草茶が作れる上に、利尿効果やデトックス効果も期待できます。実際に笹の葉を摘んで野草茶を作ってみました。今回は体験のため、実際には販売しているものを飲みましたが、身近なところから簡単に自然の恵みを味わえることが伝わったかと思います。

最後は参加者それぞれ1人になって自分のお気に入りの場所を探してリラックスタイム。森の中でまったり、ゆったりとした時間を過ごせました。

今後も自然に触れ合える色々なプログラムを企画中。興味を持った方はぜひ参加してみてください!



morinos HPでは、こうした日常風景からプログラムまで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

1

清流の国ぎふ地域活動促進事業 ～住民主体の創意工夫を凝らした森づくり・川づくり～

平成24年度から令和7年度までの14年間で延べ647件の事業が実施されました。

令和8年度は、41の団体がそれぞれ特色ある事業を実施します。

| 団体名 | 事業名 |
|------------------------|--|
| NPO法人 竹林救援隊 | 竹林の間伐と放置竹林を無くすための啓発活動 |
| ぎなんプレーパークの会 | 森を感じよう 2026 ～ぎなんプレーパーク～ |
| 木の駅上石津実行委員会 | 森林資源の森づくり |
| (一社) よだか総合研究所 | 根尾川むいむいの森 環境整備と森の学習 |
| (一社) いび森のようちえん こだめぎ | 遊んで感じて学ぶ森を生かした体験プログラム |
| NPO法人 揖斐自然環境レンジャー | 徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦 |
| 小津区自治会 | 小津地域を主体とした森づくり事業 |
| 大谷桜公園・里山づくりの会 | 大谷桜公園 里山づくり推進事業 |
| 「北方憩いの森」整備・活用 実行委員会 | 「北方憩いの森」推進事業 |
| start today ibigawa | 遊べる森づくり |
| 関市広見交遊会 | 関広見 IC ふれあい遊歩道整備事業 |
| エゴノキプロジェクト 実行委員会 | エゴノキプロジェクト |
| 郡上漁業協同組合 | 第16回長良川源流の森育成事業 |
| 明宝ジビエ研究会 | 明宝の森とエコサイクル推進事業 |
| 金谷里山整備支隊 | ボランティアの力で荒廃里山を再生しよう 2026! |
| 株式会社やまのはたへ | 森の学校及びリスクマネジメント研修実施事業 |
| (一社) こどもの庭 | 里山保全活動の継続および人材育成のための環境教育事業 |
| 三和まちづくり協議会 | 三和まちづくりプロジェクト △ stage2 △ |
| 中之番自治会 | 白隠の里森林整備活用事業 |
| 半布里の郷 | 富加町の自然を育む里山整備活動 |
| 可茂森林組合 | R8 森林との関係人口創出プロジェクト 【エコ薪】でCO ₂ 削減せよ! |
| NPO法人 美濃白川どんぐり会 | 落葉樹林 植林・育成、河川環境保全事業 |
| いのちもり | 森と暮らしの学校事業 |
| ひるかわ里山活性化委員会 | 里山活性化事業 |
| 加子母むらづくり協議会 | かしも学びの森プロジェクト 2026 ～木の匠育成と循環の森づくり～ |
| 中切区里山環境整備活動組織 | 中切区里山整備事業 |
| NPO法人 活エネルギーアカデミー | 山の恵みと共存するプロジェクト |

| 団体名 | 事業名 |
|------------------------------|------------------------------|
| 二本木生産森林組合 | 飛騨高山「彦谷の里」里山活用と広葉樹林育成事業 |
| 飛騨木遊館運営協議会 | 森林環境教育推進事業 |
| 森の自然学校 | 清流の森づくり 2026 |
| 高山山の森保全の会 | 高山山エリア里山林整備事業 |
| NPO法人 飛騨漆の森プロジェクト | 飛騨漆の森づくり推進事業 赤保木第3区 |
| NPO法人 長良川自然学校 | 長良川 川の学校事業 |
| NPO法人 e-plus生涯学習研究所 | SDGs で知る環境のつながり川と生物多様性 |
| (一社) 山学 | 子ども向け自然体験「ヤマナビキャンプ」 |
| 笠松の自然と共生を考える会 | 笠松町における生物多様性保全事業 |
| 加賀野名水保存会 | ハリヨを守る水と緑 |
| (一社) ぎふ地球環境塾 | ぎふ地球環境塾 |
| 木曾川左岸遊歩道友の会 | 木曾川左岸遊歩道等周辺整備事業 |
| NPO法人 明日の稲津を築くま ちづくり推進協議会 | 黒の田湿地及び周辺の環境保全再整備並びに PR 活動事業 |
| 定林寺湿地群もりびとの会 | 定林寺湿地群の希少種と生態系の保全 |

●令和7年度実施事業



中切区里山環境整備活動組織
(中切区里山整備事業)



といる
(田んぼを持続可能な遊び場に変身)



つなぐ「わ」
(自然の恵みをすべての人へつなぐ推進事業)



笠松の自然と共生を考える会
(笠松町における生物多様性保全事業)

木の香る
ぎふの施設

156

ハシマスマートオフィス

木造化

住所 岐阜市領下7丁目6番地



施設全景

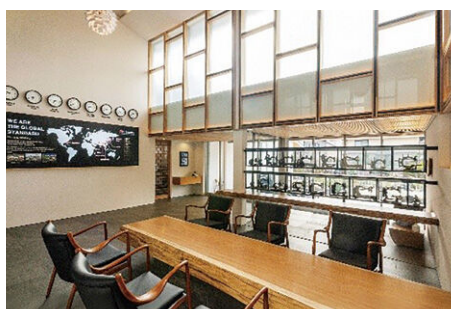
施設の概要

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 事業年度 | 令和7年度 |
| 事業主体 | 羽島グループホールディングス株式会社 |
| 構造 延床面積 | 木造2階建 569.42㎡ |
| 施設用途 | 事務所 |
| 木材使用量 使用樹種 | 164.46㎡ CLT構法 スギ、ヒノキ 岐阜証明材等 |
| 全体事業費 | 182,337千円(税抜) |
| 助成額 | 50,000千円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業) |
| 設計者 | 株式会社岩田建築事務所 |
| 施工業者 | 株式会社ボーイカンパニー |
| 工期 | 令和6年11月20日~令和7年7月17日(繰越事業) |



施設の経緯

羽島グループホールディングス(株)の子会社(株)ハシマは、令和8年5月で設立70年を迎えることとなり、業務の効率化を図るために新社屋を建設しました。建物内には営業部門や開発部門、会議室、倉庫などの機能を備えました。また地域への環境配慮から岐阜県産材を積極的に活用したCLT構法を採用しています。



エントランスホール



オフィス

ここに注目!!

木造軸組工法+CLT構造により柱のない大空間が実現しました。CLTは構造体だけでなく現わしとして取り入れることで開放感を創出し、木の温もりを感じることが出来る落ち着いた空間を作り上げました。

利用者の様子

エントランスホールは吹き抜けの大空間となり、とても開放感を感じます。オフィス空間はCLTパネルの勾配天井により、豊かな気持ちで業務に取り組みることができます。

問い合わせ先

株式会社ハシマ 管理センター
TEL 058-245-4501



森林と人を 生かす知恵 160

家も季節によって衣替え

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 辻 充孝

■家の衣替え

気候変動の影響で、日本の夏はこれまで以上に蒸し暑くなり、夜になっても熱が抜けにくい日が増えていきます。一方で冬の冷え込みは相変わらず厳しく、健康に暮らすために暖房時間はむしろ長くなっています。こうした気候の中で快適に暮らすためには、家もまた季節に合わせて「衣替え」をするという発想が欠かせません。

住まいの温熱環境を左右する大きな要素のひとつが日射です。冬は太陽の熱をしっかりと取り込みたい。けれど夏は、強烈な日差しをどうにかして遮りたい。この相反する要求をどう両立させるかが、これからの住まいづくりの鍵になります。

■遮蔽部材を考える

日射の入り方は、ガラスや窓枠の性能、庇の出、そして遮蔽部材によって決まります。このうち、季節に応じて柔軟に変化させられるのは遮蔽部材です。遮蔽部材には、障子、レースカーテン、雨戸、網戸、すだれなど、様々な選択肢があります。たとえば網戸

は通風のためのものと思われがちですが、実は約50%程度の遮蔽効果があります。冬は取り外すなどの工夫も有効です。レースカーテンも光を和らげる一方で、冬の日射取得には不利に働くことがあります。

■樹木による遮蔽効果

ここで、もうひとつ見落とされがちなのが要素が樹木による日射調整です。落葉樹は「冬は葉が落ちるから日射を妨げない」と思われがちですが、実際には幹や枝だけでも50%程度の遮蔽が生じることがあります。冬の日射を大切にしたい場合、落葉樹だからといって安心はできません。

さらに、植える位置によって効果は大きく変わります。夏の太陽は高度が高いため、南側に木を植えても建物に影を落とすことは意外と少ないのです。そこで有効なのが、東西の「北寄り」に植える配置です。朝日と夕日が低い角度から差し込む時間帯に、樹木がちょうどよく影をつくり、夏の過剰な日射を和らげてくれます。冬の日の出は南東からなので、直射を妨げにく

い。そのため、日射取得との両立がしやすくになります。植栽は単なる景観

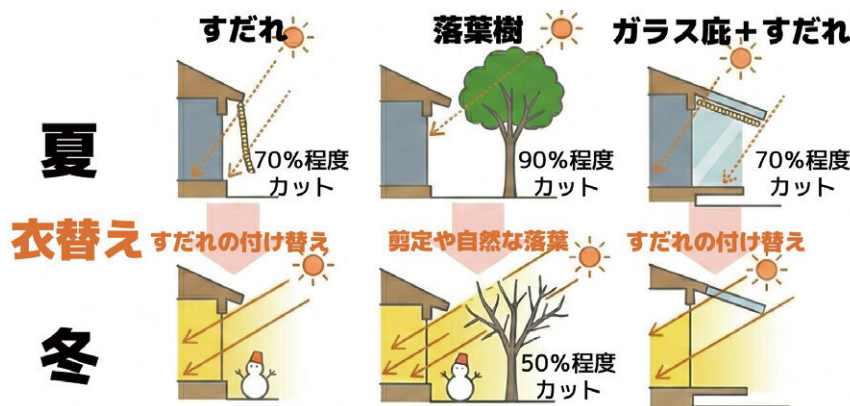


図: 季節の衣替えの例

表: 遮蔽効果の目安

| 樹木名 遮蔽部材 | 遮蔽効果 | |
|-------------|----------|----------|
| | 夏至 | 冬至 |
| 遮蔽部材なし | 0.0% | |
| 屋外 | すだれ | 70~75%程度 |
| | 外付けブラインド | 80%程度 |
| | 網戸 | 50%程度 |
| 室内 | 和障子 | 36~60%程度 |
| | 内付けブラインド | 30~50%程度 |
| | レースカーテン | 25~35%程度 |
| ケヤキ | 93%程度 | 75%程度 |
| プラタナス | 87%程度 | 66%程度 |
| イチヨウ | 83%程度 | 57%程度 |
| ソメイヨシノ | 91%程度 | 54%程度 |

※遮蔽効果は、辻充孝(2024)『ぜんぶ絵でわかる7エコハウス』エクスナレッジより

ではなく、住まいの温熱環境を整える「季節の道具」として活かすことができるのです。

■季節に寄り添う暮らし

冬の日射は、エアコン暖房とはまったく質の違う、自然のぬくもりの心地よさがあります。だからこそ、冬の日射をしっかりと取り込み、夏はしっかりと遮る。そのための「季節の衣替え」を、住まいにも取り入れていきたいものです。

家は一度建てたら終わりではなく、暮らしの中で育てていく存在です。窓まわりの調整や植栽の配置など、自然の力を上手に借りながら、季節に寄り添う暮らしを丁寧に続けていくこと。それは、森林とともに生きてきた日本の知恵を、現代の住まいに取り戻す営みでもあります。

●詳しい内容を知りたい方は TEL (0575) 35-2525 県立森林文化アカデミー まで

森林内の道路計画におけるCS立体図の活用方法

～軟弱地盤と岩盤の推定～

森林研究所 白田寿生

■はじめに

林道や森林作業道などの森林内における道路計画を進める際には、軟弱地盤や固い岩盤などの道路整備に支障を及ぼす恐れがある場所を的確に把握することが重要です。

そこで今回は、軟弱地盤と岩盤の推定に役立つ地図として、CS立体図の活用方法を紹介します。

■CS立体図の特徴

CS立体図は、谷部のような凹地形を青色、尾根部のような凸地形を赤色で、さらに、傾斜角度に応じて、緩斜面を淡い色、急斜面を濃い色で塗り分け、視覚的に地形判読を行いやすくした地図です(図1、図2)。地形判読の具体例として、森林のたより759号、776号では、斜面崩壊などの土砂移動が多発している場所では、青色と赤色が交互に集中した色が濃い場所として表現されているなど、崩壊危険地を把握する際に役立つ地図であることを紹介しました。

■軟弱地盤を推定する

写真1は森林作業道の作設地が軟弱地盤であったため、重機が走行できず丸太を敷き並べた現場の状況です。この場所を図1のCS立体図で確認してみると、軟弱地盤であった場所(図1の黒丸の位置)は、線状の青色で表現されている谷に近接し、白に近い淡い色で表現されているため、この場所が谷周辺のなだらかな場所であることがわかります。



写真1. 軟弱地盤での森林作業道の作設

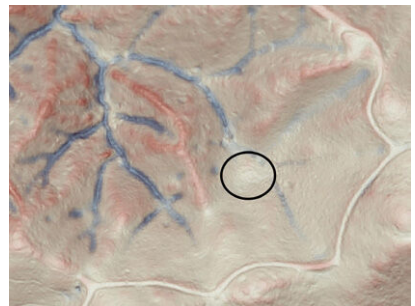


図1. CS立体図での軟弱地盤の位置

てきた土砂が堆積した場所であり、地盤内に多くの水分を含んでいるため、軟弱地盤の可能性があります。

■岩盤を推定する

写真2は森林作業道の作設地の地盤が固い岩盤であった現場の切土法面の状況です。この場所を図2のCS立体図で確認してみると、尾根部の凸地形を表す赤色で表現されています(図2の黒丸の位置)。また、濃い赤色で表現されていることから、この場所は比較的風化が進んでいない固い地盤であるため、急傾斜かつ周辺の地面に対して出っ張りの程度が大きいことがわかります。

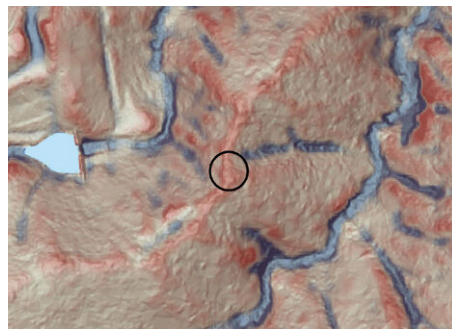


図2. CS立体図での岩盤の位置



写真2. 切土法面の岩盤

■おわりに

森林内の道路整備を進める際に予想していなかった軟弱地盤や固い岩盤などが出現すると、作業の効率やコストに大きな影響を与えます。こ

のため、道路計画の際には、CS立体図を活用して、今回紹介した事例のような場所をあらかじめ確認することをおすすめします。

県内全域分のCS立体図は、当研究所のウェブサイトから確認できますので、ぜひご活用ください。



↑
地図の確認
はこちら

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-331-2085
森林研究所まで

東濃西部の森林づくりを担う「人」を想う

東濃農林事務所

林業普及指導員 長沼慶拓



【はじめに】

東濃西部地域（多治見市、土岐市、瑞浪市）と言えば、全国有数の陶磁器産地として知られています。

全般になだらかな丘陵地形で、土岐砂礫層という痩せ地が多く、特に多治見市と土岐市北部は、はげ山復旧事業等によるアカマツ林の占める割合が多いことも特徴です。

| | 東濃 | 県平均 |
|-----|-----|-----|
| スギ | 6% | 35% |
| ヒノキ | 49% | 58% |
| マツ | 44% | 4% |
| その他 | 1% | 3% |

人工林に占める樹種割合（東濃3市と県平均の比較）
出典：令和5年度岐阜県森林・林業統計書

そんな環境であるため、産業における木材・林産業に対する依存度は低く、約20万人の人口があるこの地域で

林業従事者は52名（令和5年度岐阜県森林・林業統計書）にとどまっています。

とはいえ、アカマツ林を含めた都市近郊林、そして瑞浪市や土岐市南部のヒノキ人工林を継続的に整備し、健全で豊かな森林づくりを進めていくためには、何よりそれを担う「人」が大事です。

今回は令和7年度に取り組んだ林業労働環境改善の取組みとプランナー育成の取組みを紹介します。

【林業向け労働環境自主改善活動（以下、「WIF」）

陶都森林組合では、幸いにして令和7年度に労働災害は発生していませんが、ヒヤリ・ハットは発生しており、労働災害防止への対策は経常的に考えておかなければなりません。

そこで、令和7年の年末（仕事納めの日）、陶都森林組合の全職員が集まる機会に時間をもらい、WIFを林業普及指導員が主導して実施しまし

た。WIFは、森林ヒューマン・ファクター研究所が開発したリスコアセメントツールで、経営者や管理職によるトップダウンで進める取組みではなく、森林技術者も含めた全職員が意見を交わす改善活動であるため、実効性があると考えられています。

（WIFの進め方）

- ①労働安全活動に関する優良事例や先進技術をまとめた30の事例をよく見る。
- ②参加者各自が、各事例について「既の実施している」「改善が必要」「優先的に改善が必要」「必要ない」の4項目でチェックしていく。
- ③チェック項目を集計して「優先的に改善が必要」が多い事例ベスト10を発表し、その中から3項目の改善事項について話し合う。
- ④その後、実行（Do）↓確認（Check）↓対応（Action）を進めていく。

集計した結果、今回取り上げた改善事項は、次の3つです。

- ◎労働災害発生時の緊急連絡体制を作り全員に周知する
- ◎伐木作業の技術評価を定期的に行う
- ◎電動クローラー型二輪車で植栽用苗木やシカ防護柵の資材を運搬する



ワークショップの様子

必要性や緊急性の感じ方は参加者それぞれでしたが、安全のためにすぐ出来ること、将来的に出来ることについて、管理職、プランナー、現場技術者が意見を交わす機会となり、自主改善活動の緒に就いたと思います。

【若手森林施業プランナーの育成】

（株）山田林業では、森のジョブステーションぎふの支援を受け、近年、積極的に若い人材を採用しています。その中に、森林施業プランナーを目

指して、令和7年度に県の育成研修を受講した20代の若手がいましたので、研修で学んだことを補足する形でOJT研修を支援しました。

研修の現場として設定した多治見市有林において、プロット調査、作業道開設のための事前踏査、WEBから得られる森林情報の見方等について指導する中で心掛けたことは、研修生自らの考えを引き出すことです。

胸高直径、樹高、樹冠長などのデータを取る以外に、林内の環境及び各個体の状態をよく観察して、過去の施業履歴や材質など、いろいろと推考すること。また、施業するエリアだけでなく、広い視点で林班全体をどういう森林に誘導していくかという視点でも考えていくよう促しました。



森林の何を見て、どう考えるか 投げかける

【今後必要なこと】

当管内の林業従事者数は少ないですが、技術力のある現場技術者や、意欲のある若手プランナーがいます。そのうえで必要になってくる人材を考えてみると、

- ・集落単位での集約化や境界明確などを地道に進めることができる人材
- ・デジタル化された森林情報やGISを巧みに操ることが出来る人材
- ・森林計画制度に則った各種計画を踏まえつつ、当地域の森林を活かすためのランドデザインを描いて語れる人材

これらを担うのは、「森林総合監理士」なのか、「岐阜県地域森林監理士」なのか、はたまた…。ただ、それは誰か1人の素晴らしい能力だけでできるものではありません。

言うは易し、行うは難し。しかし、言わなければ始まりません。林業普及指導員として考えを発信し、地域の人材と一緒に森林づくりを考えていきたいと思えます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL05721231111

東濃農林事務所まで

森林技術開発・支援センター 林業普及通信

施業プランナー研修募集開始

岐阜県では、「森林所有者に対し、間伐や路網整備等の収支を含めた施業提案を行い、森林経営計画を作成・実行監理ができる中核的な人材」を施業プランナー（以下プランナー）と位置付け、「育成」「実践力向上」の二つの研修を企画・運営しています。

「育成研修」では、これからプランナーとして活躍してもらう人に、業務を行う上で必要な基礎的事項を学んでもらいます。上半期に12回の座学と演習を経て、その後は、OJT研修として、職場の上司や県林業普及指導員等の助言を受け、研修生の担当する対象森林の施業計画を作成します。



第11回育成研修(現地調査・検討)

そして、1月末の最終回に研修の成果である施業提案を発表して、長期間の研修を終了します。

また、すでにプランナーとして現場で活躍している方を対象に、実務で直面する課題について考え、解決するための技術力を身につけてもらう「実践力向上研修」を実施しています。2回の集合研修で課題を整理し、それぞれの現地検討会を経て、最終回に当研修の成果である検討結果の発表をしていただきます。

共に5月中旬の募集を予定していますので、ぜひご参加ください。



最終回実践力向上研修(成果発表)

●詳しい内容を知りたい方は

TEL05751312000

森林文化アカデミー

森林技術開発支援センター

普及企画係まで

刺される前に駆除

スズメバチ対策

ある時、事務所内を歩いていると日本酒の一升瓶！が、宴会でも開催されるのかと近づいてみると、酔や砂糖なども一緒にありました。これは、スズメバチを誘引して捕らえ駆除するための誘引液の原料で、残念ながら宴会のためのものではありませんでした。

皆さんは、ハチに刺されたことありませんか？筆者は最近刺されていますが、子供のころから、アシナガバチやミツバチ、スズメバチに刺され痛い思いをしたものです。巣を取ろうとした自分が悪いのですが…

さて、林業の現場では夏から秋にかけて、ハチによる被害が発生します。そこで当署では、冬眠を終えた女王バチが活動する、4～5

月上旬を目途に、捕殺器を設置します。ハチの数が多くなりすぎると捕殺器では対処しきれないので春先に設置することが重要です。

設置する場所は、当該年度作業を実施する箇所や、経験上ハチの生息が予測される個所に必ず複数箇所設置します。

具体的には、作業予定地の歩道周辺や藪、伐根、枯れ木、空洞木等ハチの生息しそうなところ、過去にハチに刺されたところ、南斜面で風の当たらないところへ設置します。

捕殺器は市販のものもありますが、各森林管理局の研究発表事例などから1.5～2ℓのペットボトルの空き容器を利用するのが、加工や取扱が容易で、使用後の処理の

面からも最適です。

捕殺器の仕掛け方は、ペットボトルの胴部上方に2～3cm程度の穴を数か所あけて、立木や杭などに吊り下げる方法や、ペットボトルの上部を水平に切り落とし、誘引液が薄まらないよう雨除けを設置し釘、紐等で杭等に固定する方法があります。誘引液を容器の1/2～1/3程度まで注いでおきます。誘引液に誘われて飛んできたハチがおぼれて捕殺される仕組みです。

誘引液は、色々ありますが当署では、

清酒 1.8ℓ
食酢 0.3ℓ
砂糖か蜂蜜 500グラム
を混ぜ合わせたもの、又はグレープ、アップル等のジュースを利用しています。

誘引捕殺器設置後は、誘引液の交換・補充等を現地状況に応じて適宜行う必要があります。その際は、防護具の完全着用及び殺虫

スプレー（スズメバチ対応のもの）、救急薬品等を携行しハチの行動が鈍い午前中や雨天に行うよう推奨されています。

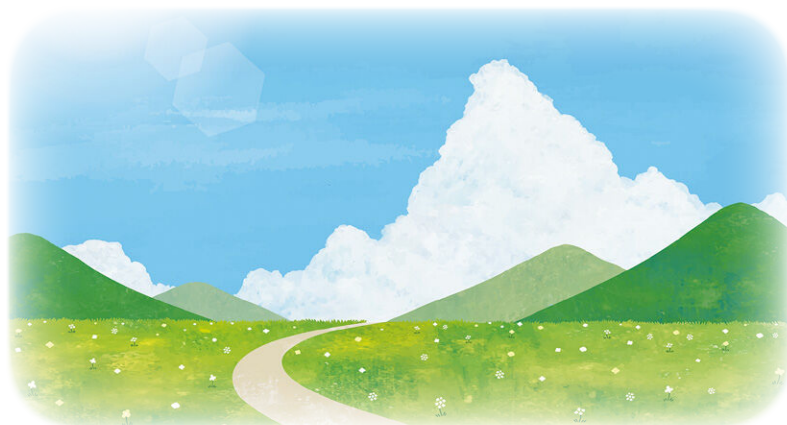


捕殺器の設置状況

お酒の匂いに誘われて捕殺されてしまうスズメバチを想像していたら、飲み屋の誘惑に負けて飲みすぎ、二日酔いに苦しむ自分と重ね合わせ少し複雑な気分には…皆さん飲み過ぎに注意しましょう。ではなく、ハチ刺されには十分気を付けてください。

（岐阜森林管理署）

| 開催日 | 行事名等 | 内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など) | 場所 |
|-----------------------|-------------------------------|--|--|
| | | | 申込(問合せ)先/TEL |
| 5月19日(火) | 刈払機取扱作業者 安全衛生教育 | <ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ● 申込：開催日の10日前まで ● 受講料：12,100円(本代含む)(振込み) ● 定員：40名(定員になり次第締め切ります。) | JAひだ吉城営農センター (飛騨市古川町上野571-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |
| 5月20日(水)~ 5月22日(金) | 伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育 | <ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間 20日 学科 8:50~17:10 21日 学・実 8:50~12:30 22日 実技 8:30~17:10 ● 申込：開催日の10日前まで ● 受講料：24,530円(本代含む)(振込み) ● 定員：40名(定員になり次第締め切ります。) | 20日(学科) 21日(学・実) JAひだ吉城営農センター (飛騨市古川町上野571-1) 22日(実技) 県森連飛騨産物共販所 (高山市新宮町112-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |
| 6月2日(火) | 刈払機取扱作業者 安全衛生教育 | <ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ● 申込：開催日の10日前まで ● 受講料：12,100円(本代含む)(振込み) ● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。) | 郡上森林組合 (郡上市八幡町稲成525-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |



コラム

私の住む関市では、ことしも5月11日から10月15日まで、岐阜市の長良川鶺鴒と同じ期間に、小瀬鶺鴒が静かに、そして荘厳に繰り広げられます。小瀬の夜は深く、川面を照らすのは鶺舟の篝火だけ。闇に浮かぶ炎のゆらぎの中で、宮内庁式部職の鶺匠が千年以上受け継いできた技が息づいています。

長良川鶺鴒に比べると観覧船が少なく、手を伸ばせば届きそうな距離で伝統の営みが展開されます。鶺匠の声、舟のきしむ音、水面を切る鶺の動き—それらが重なり合って生まれる光景は、まさに“静寂のドラマ”です。また、世界農業遺産に「清流長良川の鮎」が認定されていることも、この地の豊かさを静かに物語っています。

長良川鶺鴒の華やかさとはまた異なる、小瀬鶺鴒ならではの幻想的な時間を、今年も多くの方に味わっていただければと思います。

「森林のたより」編集委員 山下篤志

6月号予定

イベント情報

連載

- 山の歳時記 (250)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵 (161)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築 (157)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

6月1日
発行

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

| 回数 共販所名 | 樹種 | 長さ | 径 | 平均値 | 高値 | 気配 | |
|-----------------|------------------------|---------|---------|---------|---------|----|---|
| 第1900回 岐阜共販所 | すぎ | 3 m | 16~18cm | 14,200 | — | → | |
| | | 4 m | 16~18cm | 14,200 | — | → | |
| | | | 20~22cm | 14,900 | — | ↗ | |
| | | | 24~28cm | 14,800 | — | ↗ | |
| | | | 30cm以上 | 14,000 | 18,000 | → | |
| | 6 m | 16~22cm | 17,200 | — | → | | |
| | 3月24日 年度末 謝恩市 | 3 m | 16~18cm | 21,800 | — | → | |
| | | | 20cm以上 | 19,500 | 30,000 | → | |
| | | 4 m | 16~22cm | 21,300 | — | → | |
| | | | 24~28cm | 19,500 | — | → | |
| 30cm以上 | | | 19,200 | 70,200 | → | | |
| 6 m | 16~18cm | — | — | → | | | |
| 第1500回 飛騨共販所 | すぎ | 3 m | 16~22cm | 14,700 | — | → | |
| | | 4 m | 24~28cm | 14,800 | — | → | |
| | | | 30cm以上 | 13,700 | — | → | |
| | 3 m | 16~18cm | 21,800 | — | → | | |
| | | 20~22cm | 20,500 | — | → | | |
| | | 4 m | 24~28cm | 19,500 | — | → | |
| | | | 30cm以上 | 19,200 | 70,000 | → | |
| | | 6 m | 16~20cm | — | 185,000 | → | |
| | 3月25日 第1500回 記念市 | ひめこ | 4 m | 24~30cm | 13,000 | — | ↘ |
| | | | 30cm以上 | 15,000 | 44,200 | → | |
| 5 m | | 40cm以上 | — | — | → | | |
| くり | | 4 m | 24cm以上 | 14,000 | — | → | |
| 第1834回 東濃共販所 | すぎ | 3 m | 16~22cm | 14,200 | — | → | |
| | | 4 m | 24~28cm | 14,700 | — | ↗ | |
| | | | 30cm以上元 | 15,000 | — | → | |
| | 3 m | 16~22cm | 21,500 | 31,000 | ↘ | | |
| | | 24~28cm | 19,800 | 36,000 | → | | |
| | | 30cm以上元 | 28,000 | 43,000 | → | | |
| | | 4 m | 13cm以下 | 12,000 | — | → | |
| | | | 16~22cm | 21,700 | — | ↘ | |
| | | | 24~28cm | 19,800 | 28,000 | → | |
| | | | 30cm以上元 | 29,000 | 39,000 | ↗ | |
| 6 m | 18~22cm | 29,500 | — | → | | | |
| まつ | 4 m | 30cm以上元 | — | — | → | | |

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木・尺上良材は、活気のある入札となり、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は強含み。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気があり、価格は強含みで引き合いも強い。ヒノキ3m・4m構造材は価格保合。合板向けは価格保合ながら納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要は高い。(岐阜)

スギは安定しているが、ヒノキ並材は弱含み。ヒノキ優良材は買気旺盛。ヒメコは弱含みの傾向であるものの大径の良質材は買気旺盛。広葉樹はサクラ、クリ(2m×34cm以上、良質材)、ナラ(30cm以上、赤身多)の引き合いが強い。高値は、ヒメコ4m×42cm@44,200円、ヒメコ3m×46cm@33,200円、ナラ2.1m×40cm@73,900円、クリ2.2m×36cm@41,000円、エンジュ2.8m×32cm@55,000円、ヒノキ4m×40cm@70,000円、ヒノキ2m×48cm@43,800円、ヒノキ6m×56cm@185,000円、サクラ4.4m×30cm@32,800円。(飛騨)

スギ・ヒノキともに良材への応札が目立ち、市場はにぎわいを見せた。ヒノキは4m元木や中目良材を中心に、地元工務店からの引き合いが強く、相場は強含み。3m材では元木尺上材・柱役物材に引き合いが集まり強保合。構造材向けの3m・4mは引き合い堅調ながら、価格はやや保合に陰りが見られる。2m材は尺上良材が保合を維持した一方、20cm以下は荷動きが鈍く弱含み。スギは全体量が少なく品薄が続く中、4m元木・中目良材ともに引き合い好調で強保合。4m(24cm以上)の構造材および3m材も品薄から強保合で推移。6m長柱向け材(16~20cm)は需要が堅調で好調な動き。合板向けは価格保合ながら納材は順調で、ラミナ向けもスギ・ヒノキともに活発な動きが続いている。(東濃)

製品卸売標準価格 (3月期)

単位:円

| 樹種 | 用途 | 寸法(mm) | | | 等級 | m ³ 当り 価格 | (本(枚)単価) | 前月 比較 |
|----------------|----|--------|-----|-----|------|-------------------------|-----------|----------|
| | | 長 | 巾 | 高 | | | | |
| スギ | 柱 | 3000 | 105 | 105 | 1等 | 68,000 | (2,249) | → |
| | 間柱 | 3000 | 105 | 30 | 1等 | 70,000 | (662) | → |
| ヒノキ | 土台 | 4000 | 105 | 105 | 特等 | 76,000 | (3,352) | → |
| | 柱 | 3000 | 120 | 120 | 特等 | 75,000 | (3,240) | → |
| | | 6000 | 120 | 120 | 特等 | 155,000 | (13,392) | → |
| W集 ウ成 ッ材 | 柱 | 3000 | 105 | 105 | 国産5層 | 88,000 | (2,900) | ↑ |
| | | 3000 | 120 | 120 | 国産5層 | 91,000 | (3,900) | ↑ |

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (3月期)

単位:100円(1㎡当たり)

| 樹種 | 規格 | 価格 | 前月比較 |
|-----|-----------|-----|------|
| 米松 | SSタイプ | 432 | → |
| | コースト(目荒) | 439 | ↓ |
| 米楡 | ヘム(アラスカ産) | 468 | → |
| 米ひば | ポール | — | — |

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

ピンホール

虫に食われて木材に生じた小さな穴のこと。キクイムシ科とナガキクイムシ科の害虫によるもの。日本では120種類、南洋材では1000種類以上の害虫が知られている。この穴があると製材品は低い評価となり、価格は極端に安くなる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典